



吠像

阿像

有形文化財（彫刻）

23. もくぞうこまいぬ 木造狛犬 2頭一対

■指定年月日 昭和63年3月18日（1988）

■像 高 阿像49.0cm 吠像47.5cm

■所在地 長橋町37-42

■所有者 きたしまあらみさき 北嶋荒御前神社

2頭とも一木造りで、前肢は別材で作ってはめこんである。また両方とも太いたてがみを前から背に垂れ、前肢をそろえてふんばり、腰を下して坐る。若干の虫害がみられるが、保存は比較的良好である。

（吠像）文安六年<sub>己</sub>四月十五日

荒前神明 願主吉正神□

（追銘）天文八年潤六月廿八日

サイカウ吉助神主

敬白 当□ □□

底面に次のような墨書の銘文が記されている。

（阿像）□安六年<sub>己</sub>四月十□□

荒前神明 願主 吉正神主

（追銘）天文八年<sub>己</sub>六月廿八日サイカ□

吉助

神主

この狛犬は、当社の随神像と共に文安6年（1449）に神主吉正が願主となって造像されたものである事、その後天文8年（1539）に神主吉助によって再興（修理）されたものである事がわかる。

作品的にも室町期の気品と風格がある優品であり、奥能登の神社史の資料としても貴重な文化財といえよう。